

みんなで取り組む

— 水災害対策 —

流域治水

近年、全国各地で豪雨などによる水害や土砂災害が発生し、町内でも、令和元年10月に発生した台風19号により佐久間川が決壊するなどの被害がありました。これまで、水災害の発生を防ぐために行う治水対策は、河川管理者による河川区域（川・護岸・堤防など）の整備が主体でした。しかし、頻発化・激甚化する水災害に対応するためには、流域※に関わるあらゆる関係者（国・県・市町村・企業・住民など）が協働して対策を進めていく必要があります。それが「流域治水」という考え方です。

※流域… 河川に流れ込む雨水などが降り集まる範囲・領域

取り組み ① 阿武隈川上流遊水地群の整備



遊水地は、洪水時に川の水を一時的にため込み、その地域と下流域の浸水被害の軽減に大きな効果を発揮します。国土交通省では、阿武隈川上流（鏡石町、矢吹町、玉川村）で、約350haにもなる大規模な遊水地群の整備を進めています（令和10年度完成予定）。



遊水地イメージ

- ①周囲堤… 遊水地のまわりの堤防
- ②越流堤… 川の水を遊水地に入れるための低い堤防



取り組み ② 河川整備

河川の断面を広げ水位低減を図るために、堤防の整備や河道掘削などを実施しています。

▼掘削工事前（2022年4月）



▼掘削工事後（2022年12月）



みんなができること

大雨時の水の使用を工夫する、大雨に備えて自宅の雨水対策を確認する、地域を流れる川の増水リスクを知ることなども、流域治水を推進するための大切な取り組みです。

- 大雨時は、風呂や洗濯などの水の使用を控える



- 自宅の庭に砂利を敷き、花壇をつくるなどし、雨水が土壌に染み込むようにする



- 日ごろから雨水マスをきれいにし、水が詰まるのを防ぐ



- 家庭用雨水タンクを設置する（ためた水は、庭の水撒きなどへ活用できる）。



資料出典：国土交通省福島河川国道事務所

人権擁護委員活動に尽力 田辺節子さんへ感謝状贈呈



▲（左から）高橋町長、田辺節子さん、佐藤ひろみさん、福島地方法務局鈴木里香人権擁護課長

法務大臣が委嘱する人権擁護委員への退任感謝状贈呈式が7月9日、役場で行われ、福島地方法務局の鈴木里香人権擁護課長より田辺節子さんへ感謝状が贈呈されました。

田辺さんは、平成27年から3期9年にわたり、小学校や児童館で人権教室や人権の花運動、電話や対面による人権相談に従事されました。式では、新たに人権擁護委員となる佐藤ひろみさんへの委嘱状伝達も行われました。これまでのさまざまな経験を活かし、町の人権擁護活動のために尽力いただきます。

全国大会での活躍に期待 出場選手へ激励金贈呈



▲佐藤教育長（右）より激励金を受け取る選手の皆さん

各種スポーツの全国大会出場が決まった選手・指導者への激励金贈呈式が7月26日、役場で行われました。激励金を贈呈した佐藤教育長は「持てる力を存分に出し切り、さらなる活躍を期待する」と激励しました。各種大会の出場選手・指導者は次のとおりです。

- 文部科学大臣杯 第66回小学生・中学生全国空手道選手権大会
松原美奈 渡辺愛空
渡辺煌空 渡辺詩空
- 日清食品カップ 第40回全国小学生陸上競技交流大会
伊藤千晴
- 第24回全日本中学生男女ソフトボール大会
渡邊蓮斗
- 全国高等学校定時制通信制体育大会 第57回卓球大会
野村健志
- 第78回国民スポーツ大会 バウンドテニス競技
大槻佳子 菅野真由美
- 全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会
渡部靖（指導者）

※順不同・敬称略

広告